

清掃

焼却すれば経費減などメリット まずプラごみを減少させるべき

プラスチックごみ

鈴木雅斗議員(緑風会第一) 現在、本市ではプラスチックごみと可燃ごみを別々に処理しているが、プラスチックごみを一緒に焼却すれば、週3回収集が可能となる上、そこで浮く経費を電気自動車の助成等に充てることができるなどメリットが非常に大きいと考える。市の見解を問う。

答 プラスチックごみについては、海洋ごみの問題など、世の中の視線が厳しくなっており、関心が深まっている。プラスチックを焼却することは、二酸化炭素を増やすことにつながるため、まずはプラスチックを使わず、ごみとして出さない社会運動を進めていくことが必要と考えている。

市民生活

市民マナー条例で規制すべきでは 社会情勢を見て今後研究したい

歩きスマホ対策

廣田徳子議員(日本共産党) 自転車等の運転中や歩きながらスマートフォンを操作する「歩きスマホ」は、衝突により、他人だけでなく自身も怪我をする恐れがあるため、大変危険である。事故防止の観点から、市民マナー条例中に歩きスマホの禁止事項を追加すべきと考えるが、市の方針を問う。

答 本市では、自転車走行中のスマホ使用は「市川市自転車の安全利用に関する条例」で禁止行為として定めているが、歩きスマホを規制する条例はなく、近隣自治体においても条例で規制している例はない状況である。今後、社会情勢を見ながら、歩きスマホの規制について研究していきたい。

防災

災害対応

自治会活動と災害対応

洪水ハザードマップ

防災意識の向上

浅野さち議員(公明党) 市川地方卸売市場(以下、市場)は、交通便利性が高いだけでなく市川警察署や仮本庁舎からも近いので、市の認識を問う。

地方卸売市場 防災拠点として活用を 設備面も好適 協力依頼の協議を進める

災害時に防災拠点として活用できれば市民にとって非常に有効と考える。そこで、災害時に市場を防災拠点として活用する考えについて、市の認識を問う。

答 市場には、屋内使用が可能で約9400㎡あり、災害時は市民の避難所に適している他、広大な敷地を活かして大型車両の待機スペース等も設置可能であるため、防災拠点として優れていると認識している。現在、市場側に対し災害時の協力を依頼しており、今後も協議を進めていく。

国松ひろき議員(創生市川) 災害時の備えとしては、行政間だけでなく自治会間の連携も重要であり、市境を越えた近隣自治会との協力を進めたい。

市境越えた相互連携必要 市の認識は 防災訓練への相互参加等促していく

連携できるシステムの構築が必要である。日頃から近隣市の地域住民が連携する中で、災害時の円滑な活動が行われる際には、自治会の担当者や声を掛けていく。

答 市境を越えた近隣自治会同士で、例えば各地区で行う防災訓練に自治会の役員等が相互に参加・見学するといった繋がりを持つことは重要であると考えている。今後、地域で防災訓練が行われる際には、自治会の担当者や声を掛けていく。

青山ひろかず議員(緑風会第一) 行徳地域は海と旧江戸川に囲まれており、水害が起これば高い場所がなくなる。市の洪水ハザードマップに避難方向も記載すべきでは

避難方向も記載すべきでは かえって危険な場所へ誘導のおそれ

ドマップには浸水想定区域と避難場所の記載はあるが、万一に備えてどちらに避難すべきかも記載すべきと考える。市の考えを問う。

方向を示す例があることは認識しているが、本市は真間川等の都河川が多いため、河川氾濫や内水氾濫を想定すると、避難方向を示すことが、かえって危険な場所へ誘導することにもなりかねない。今後、マップを刷新する際には、災害時の円滑な避難行動に繋げられるよう工夫していく。

宮本均議員(公明党) 令和元年8月の総合防災訓練では、消防艇による水上輸送訓練を行った。消防艇の活動は非常に重要であるが、市民が知る機会が少ない。本市の防災施策を更に加速させるためには、市民が防災について親しみやすく学べる機会が必要と考えるが、そのために消防艇を活用する考えはあるか。

親しみやすく学べる機会を 消防艇活用し体験型イベント等検討

消防艇の活動については、消防広報紙等への掲載や防災訓練への参加により周知してきた。今後は市民の更なる防災意識の向上に向け、水辺の自然と安全を守る消防艇の活動等を知ってもらえるよう、消防艇を活用した訓練の他、体験型イベント等も検討していく。

答 消防艇の活動については、消防広報紙等への掲載や防災訓練への参加により周知してきた。今後は市民の更なる防災意識の向上に向け、水辺の自然と安全を守る消防艇の活動等を知ってもらえるよう、消防艇を活用した訓練の他、体験型イベント等も検討していく。

行政

新第1庁舎の建設

DXの推進

テスラ車導入問題

市長車等へのテスラ導入

大久保たかし議員(市未来50年の会) 市は市役所新第1庁舎の1階と2階の間に階段を設けると発表した。この階段は職員だけでなく市民も利用するとの見解を問う。

追加階段は中央部 市民の利用は 2階に市民向け窓口を配置

利用するとの見解を問うが、示された図面では2階の執務室の中央に階段が位置している。今後示される図面では、市民が階段を利用して、市民が階段を利用して、最終的な配置を決めていく。

答 新第1庁舎には2階にも市民に対応する窓口を配置する予定であり、来庁者の利便性向上のためにもフロア中央部に階段を設置したいと考えている。なお、新庁舎のレイアウトについては、現時点で概ね決まっているが、今後各業務フローを詳細に検証しながら、最終的な配置を決めていく。

大場諭議員(公明党) 市はデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現に向け、DXの推進を進めている。DXの推進を進めている。DXの推進を進めている。

ICT化が目的ではない 市の認識は 市民・職員共に価値ある行政を実現

実現には業務フローを的確に把握して職員の理解を得ることが重要であり、ICTの導入自体が目的化してはならないと考える。そこで、市の認識について問う。

答 本市のDXの目的は業務改善等を断行し市民サービスを飛躍的に向上させることにある。DX憲章の策定においては、各種事務事業のアセスメントを実施すると共に、市政戦略会議の答申を踏まえ、手段が目的化しないよう市民・職員双方にとって価値のある行政の実現を基本としていく。

石原よしのり議員(無所属の会) 市長公用車へのテスラ社製電気自動車導入の問題は、市のイメージを大きく損ね、行政内部の混乱・停滞も招いている。こうした状況に陥った原因の1つに政策決定プロセスの不透明さがあると思う。市の認識を問う。

政策決定の不透明さが混乱の一因 政策説明尽くせなかつた点は反省

説明し尽くせなかつた点は反省しているが、政策決定すべき分野は数多くあり、車両の調達もその1つで、市の環境政策を進めるために正しい判断を行ったものである。政策の決定過程をオープンにすべきことはその通りであり、重要課題については今後も機会あるごとに説明していきたい。

説明し尽くせなかつた点は反省しているが、政策決定すべき分野は数多くあり、車両の調達もその1つで、市の環境政策を進めるために正しい判断を行ったものである。政策の決定過程をオープンにすべきことはその通りであり、重要課題については今後も機会あるごとに説明していきたい。

長友正徳議員(無所属の会) 市長車等へのテスラ社製電気自動車導入については、明らかに市民の理解が得られない行政運営が行われたと考えるが、意思決定に関する協議の上、決定した。導入は環境・エネルギー政策の一環であり、当初は市民の理解を得られると考えていたが、説明を尽くす必要があったと考えている。

市民理解得られると考えていたのか 説明を尽くす必要があった

だと思いが、実際に同会議で協議を行ったのか。また、導入に否定的な意見が多く、重要な施策として市川市行政と考えるが、意思決定に関する協議の上、決定した。導入は環境・エネルギー政策の一環であり、当初は市民の理解を得られると考えていたが、説明を尽くす必要があったと考えている。

わたった職員は市民の理解を得られると考えていたのか。答 テスラ車の導入は行政経営会議では協議しておらず、当初予算の編成過程で協議の上、決定した。導入は環境・エネルギー政策の一環であり、当初は市民の理解を得られると考えていたが、説明を尽くす必要があったと考えている。